

南あわじ市 平成 23 年度 事務事業評価シート 新規 継続

(事務・繰出金 組織運営 管理用)

基本事項

事業名		有害鳥獣対策事業	予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名		農業振興部 農林振興課		款	農林水産業費・6款
電話		0799-43-5025		項	林業費・2項
事業分類		<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	目	林業総務費・1目	
		法的根拠 (法令、条例、要綱等)			
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職_食_づくり_夢あふれ_働く場を生み出すまちづくり_			
	まちづくりの目標	ふやさんか_食づくりの担い手【農漁業】			
	施策目標	食づくりの源である豊穰の大地と海を守り、農業や漁業に携わる市民(若者、女性、元気な高齢者層など)を育てる			
該当する事業について「 」を選択		事務繰出	組織運営	管理	

Plan (計画・事務内容)

事務又は管理の内容	目的	対象(誰を・どのような状況の人を) 野生動物により農作物被害を受けている農業者 対象人数(人) 1,000
	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	野生動物による農作物被害対策を講じることで山林周辺部等の農業者が安心して農業生産に従事できる環境づくりを目指す。
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 農作物被害の軽減のために実施する有害鳥獣捕獲活動の実施や地元住民への被害防止のための啓発活動等を行う。
事務又は管理の内容	(具体的に実施した事務又は管理の内容など) 被害農地周辺の山林部における有害鳥獣捕獲活動の実施にかかる地元調整や注意喚起、猟友会による捕獲活動の支援を行う。加えて、猟友会や兵庫県との年間捕獲計画の策定等を行う。また、地元住民への被害対策にかかる啓発講演会の実施や、狩猟免許の取得にかかる啓発や支援を行う。	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)	
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から	

Do (活動内容、投入資源・コスト)

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
資源配分 (インプット)	直接事業費 (千円)	4,205	5,171	17,369	42,894	68,189
	需用費(消耗品費・食糧費)	0	94	112	264	254
	郵便料金及び切手等購入費	16	0	0	0	0
	負担金補助及び交付金	4,189	5,077	17,257	42,630	67,935
	財 源 (千円)					
	国					
	県	1,882	1,000	2,554	18,686	41,468
	起債					
	その他			300	20,000	20,000
	一般財源[A]	2,323	4,171	14,515	4,208	6,721
	人件費(正規職員)[B] (千円)	1,230,390	1,243,620	1,208,340	0	0
	平均人件費(1日当り)	27.9	28.2	27.4	26.8	26.8
	事業量1(事業に要した日数)	210	210	210		
	事業量2(事業に要した人数)	210	210	210		
	年間経費([A]+[B])	1,232,713	1,247,791	1,222,855	4,208	6,721
	'目的'対象人数1人当り経費 (円)	1,232,713.0	1,247,791.0	1,222,855.0	4,208.0	6,721.0
経費に関する 補足説明	財源：H22その他(雑入：有害鳥獣捕獲隊分担金)、H23H24その他(繰入：環境保全基金) 平成22年度まで決算額。平成23～24年度は当初予算額。					

Check (事業の自己評価・一次評価、コスト分析)

		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事務又は管理経費	直接事業費対前年度増減率	%	-	23.0	235.9	147.0	59.0
	(事務又は管理経費に係る問題点・課題等) 野生動物による農作物被害は年々拡大していることから、農業者からの被害対策にかかる要望も年々増加してきていることから、今後も経費の増加が想定される。						自己 点 評 価 (5)
							4
人件費	人件費対前年度増減率	%	-	98.9	102.92	-	-
	(人件費に係る問題点・課題等) 野生動物による農作物被害は年々拡大していることから、農業者からの被害対策にかかる要望も年々増加してきていることから、今後も経費の増加が想定される。						自己 点 評 価 (5)
							4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		年々野生動物の生息域の拡大とともに、被害区域も拡大していることから、今後も継続して有害鳥獣対策を講じていく必要がある。				
			<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>直接事務費 人件費</p> </div>				

Action & Plan (改善の内容)

	平成24年度にできる改善・改革	平成25年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 業務改善 <input type="checkbox"/> 人員配置の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 業務改善 <input type="checkbox"/> 人員配置の見直し
	<p>農業が主要産業である南あわじ市にとっては、野生動物による農作物被害は深刻な問題であることから、被害対策は急務である。しかしながら、年々野生動物の生息域の拡大とともに、被害区域も拡大しているのが現状であることから、今後も継続して有害鳥獣捕獲を実施するとともに、減少傾向にある狩猟者の担い手を確保するため、狩猟免許の取得についての啓発や推進を実施していく。</p>	同左
具体的な改善方法 (現状維持以外の場合)	事務又は管理経費に関すること	事務又は管理経費に関すること
	人件費に関すること	人件費に関すること